歴史・文化を活かした観光資源の開発と豊かな自然環境を未来へつなぐ取組を



伊藤　英雄
（いとう ひでお）

録画映像はこちら

人口減少社会における地方創生・地域経済活性化について

観光資源の発掘と磨き上げを進め、今後どのように発展させていくのでしょうか。

経済環境部長　本市の地域資源を活用した観光として、北部市街地を会場に行われる着物イベント「きものｄａｙ結城」や、結城紬の織りや着心地体験などによる体験型観光を実施している。

今後も、地域資源を有効的に活用し、観光の発展と地域経済の活性化について、積極的に取り組んでいく。

選ばれる地方の実現として出産や育児をしやすい地方の子育て環境づくりや地方の雇用創出の取組を進めることで、豊かな生活環境を実現することが、将来への移住・定住につながると考えますが、本市としての取組や支援制度はどのようになっているのでしょうか。

企画財務部長　移住・定住を促進する取組として、「お試し移住体験」や東京圏からの移住者を対象とした「わくわく茨城生活実現事業移住支援金」の交付を実施し、８年度からは、更なる促進を図るため、東京圏から本市へ転入し、住宅を取得する方を対象とした「結城で暮らそう住宅取得応援補助金」などの本市独自の新たな支援策を開始した。

地球温暖化への取組について

本市では、２０５０年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティを宣言しましたが、二酸化炭素排出量実質ゼロの実現に向けた具体的な取組についてお伺いいたします。

経済環境部長　令和８年４月に「結城市地球温暖化対策実行計画」を改定し、市の事務・事業に伴う温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる。

また、本市独自の環境マネジメントシステム、いわゆるＥＭＳを全庁的に運用し、電気使用量等の把握や省エネルギーに向けた取組を推進し、市が率先して二酸化炭素排出量の削減を行っている。



※一般質問の掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。